

イラストレイテッド・ロンドン・ニュース・オンライン版

The Illustrated London News Historical Archive 1842-2003 その1

センゲージラーニング株式会社

The Illustrated London News Historical Archive 1842-2003 は世界初の挿絵入り週刊新聞イラストレイテッド・ロンドン・ニュースの、1842 年の創刊から 2003 年の終刊までの全ページをウェブ上で提供するデータベースです。紙面のすべての文章を検索することができ、またカラーページも忠実に再現されています。

今回より複数回にわけて、本データベースに収録される多彩な記事内容をご紹介します。



トップページ
(基本検索画面)

◆イラストレイテッド・ロンドン・ニュースとは◆

Illustrated London News (ILN) は、挿絵を挿入することでニュースを視覚的に伝えることを目的として 1842 年に創刊された、世界初の挿絵入り週刊新聞です。トマス・ビューイック (Thomas Bewick) により再興され、19 世紀前半の定期刊行物の中で洗練の度を深めた木口木版技法のもつ潜在的な表現力を発揮させることで多くの読者の獲得に成功しました。

ILN が創刊された 1840 年代は、政治、経済、社会、文化、科学技術など各方面で新しい動きが出てきた節目の時代です。この時代に、ILN と前後する形で、週刊諷刺漫画誌 *Punch* やフランスの挿絵入り週刊誌 *L'Illustration* が創刊されました。時代は、伝統的な活字媒体だけではない新しい表現媒体を求めていたのです。Lloyd's Illustrated London News, Pictorial Times, Pictorial World など後発の挿絵入り雑誌が長続きしなかったのに対して、ILN は 19 世紀、20 世紀を生き抜き、2003 年にその歴史的使命を果たして、終刊を迎えました。

◆The Illustrated London News Historical Archive 1842-2003 画面例◆



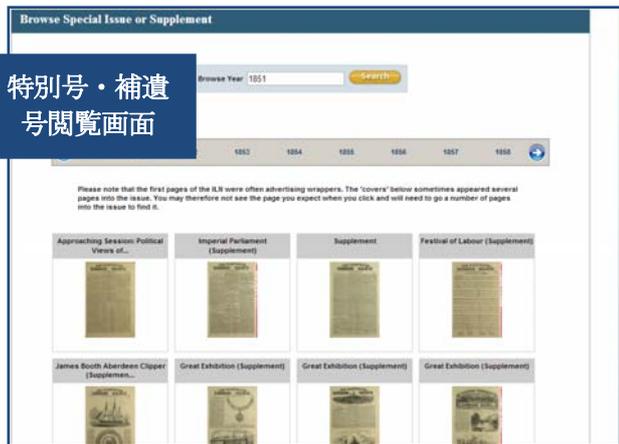
詳細検索画面

発行日、記事の種類、挿絵の種類での検索の絞込みができます。



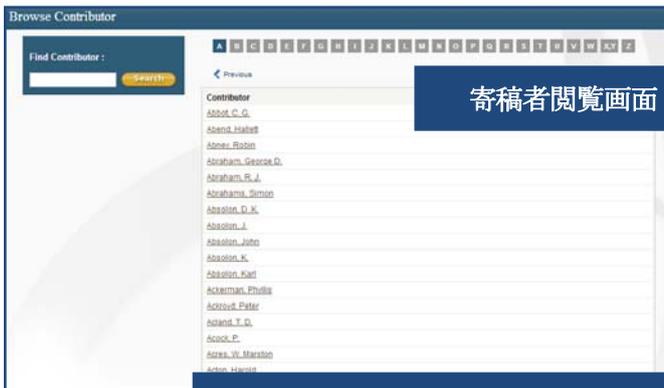
号閲覧画面

年代を指定すると、その年の号の表紙が表示されます。表紙をクリックすると、その号を 1 ページから閲覧することができます。



特別号・補遺号閲覧画面

年代を指定すると、その年の特集号の最初のページが表示されます。そのページをクリックすると、特集号を最初から閲覧することができます。



寄稿者閲覧画面

寄稿者閲覧画面からは、寄稿者を探し、寄稿者名をクリックすると、その寄稿者の記事が表示されます。



検索結果表示画面



保存/印刷/メール送信/書誌生成/ブックマーク

記事表示画面

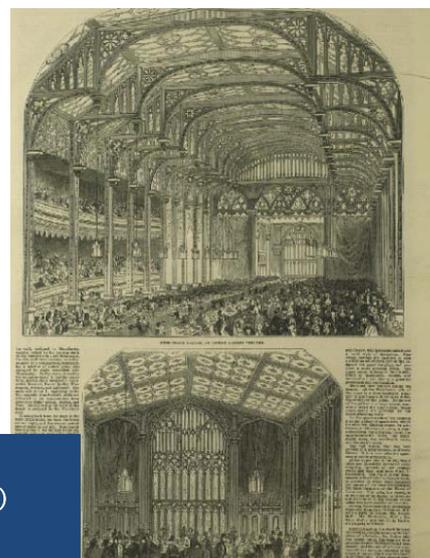
ILN は政治、法律、経済、社会、軍事、芸術、娯楽、科学技術、外国事情などの時事問題から、文学作品、時評コラム、ゴシップ、王室記事、人物報、訃報、投書欄、広告まで、多様な記事で構成されています。

◆政治◆

ILN が創刊された 1840 年代は、自由貿易の推進を目的とした反穀物法運動や議会改革を目的としたチャーチスト運動が盛り上がりを見せた政治の季節です。穀物法が廃止され、自由貿易体制が確立する一方で、チャーチスト運動は 1848 年に最後の高揚を見せた後消沈しますが、1867 年の第二次選挙制度改革により都市の労働者階級は選挙権を獲得します。また、1871 年には労働組合が法的に認められ、以後労働者はストライキを行使することができるようになります。ILN の挿絵入り記事によって、これらの一連の動向を辿ることができます。

反穀物法同盟
(Opening of the Anti-Corn-Law League Bazaar) (May 10, 1845)

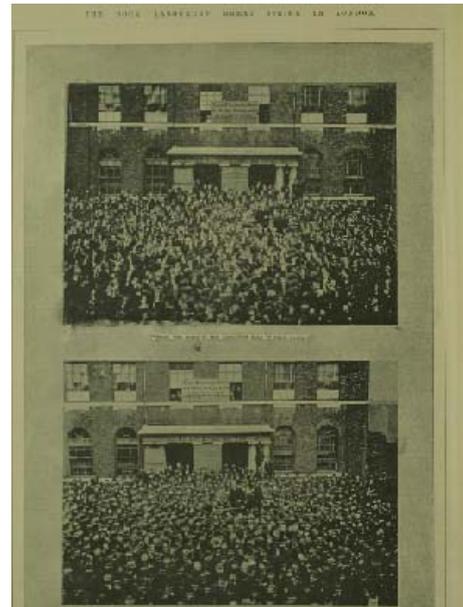
—コヴェントガーデン劇場での自由貿易バザール





チャーチストのデモ行進 (The Chartist Demonstration)
(April 15, 1848)

—上はロンドン、ケントン・コモンでの集会、
下はブラックフライアーズ橋の辺りを行進するデモ隊



ドック労働者のストライキ (The Dock Labourers' Strike)
(September 7, 1889)

—上では決議に同意している人々が挙手しているが、
下では挙手している人がいない

◆建築◆

ヴィクトリア朝時代には中世への関心が文学や芸術の分野で沸き起こり、建築の分野でも教会をはじめとしてゴシック建築が流行しました。その一方で、19世紀初頭に流行したギリシア趣味は建築にも大きな影響を与え、ギリシアの建築様式を取り入れた古典主義（新古典主義）も隆盛します。



リーズの新市庁舎 (The New Town-Hall, Leeds)
(September 11, 1858)

—19世紀には古典主義様式の市庁舎が多く
建設された。リーズはその代表。



トッドモーデン市庁舎とフィールデンの彫像
(Todmorden Townhall and Fielden Statue) (April 17, 1875)

—古典主義様式の代表的建築



オックスフォード大学博物館 (The Oxford University Museum)
(November 5, 1859)

—ゴシック様式の代表的建築

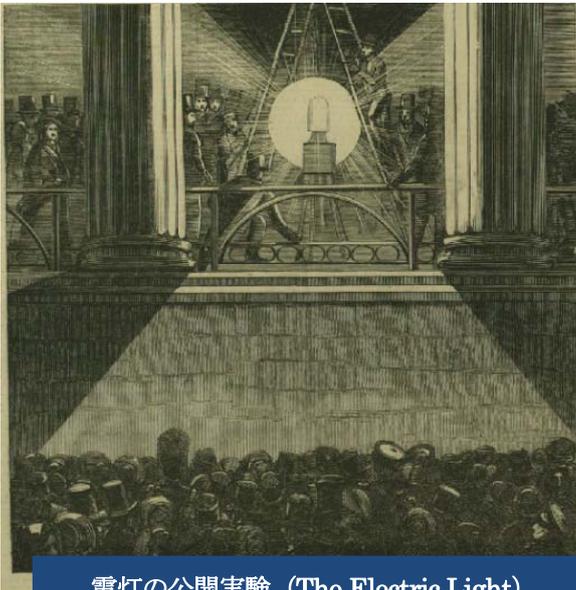


オーガスタス・ピュージン追悼記事
(The Late Mr. Pugin) (October 2, 1852)

—ゴシック復興に多大な影響を与えた

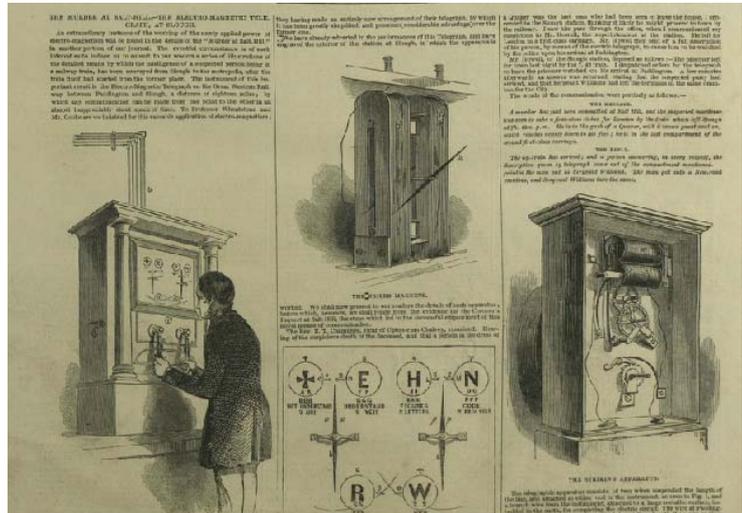
◆技術◆

近代社会を前近代社会から区別するものとして、交通・通信革命による時間と距離の短縮があります。19世紀においてこれを象徴するのが、鉄道、電信、電話です。また、20世紀に本格化する大量生産は、動力革命と機械化によってすでに19世紀に始まっていました。蒸気機関を利用した印刷機の導入は、印刷コストの低廉化をもたらし、識字率の上昇と相俟って、夥しい数の書籍、雑誌、新聞が発行されました。ILNはこれら同時代の技術革新と人々の驚きをヴィヴィッドに伝えています。



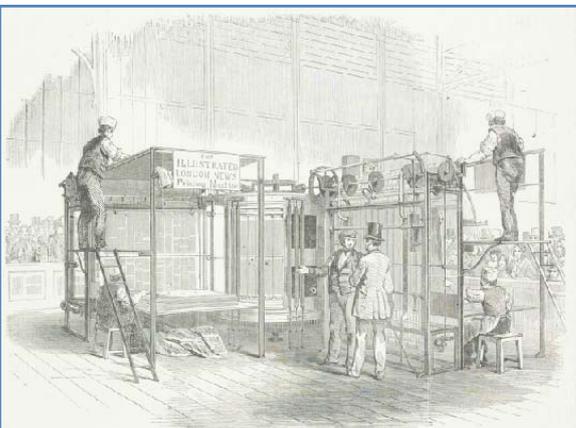
電灯の公開実験 (The Electric Light)
(December 9, 1848)

—トラファルガー広場での公開実験の様子

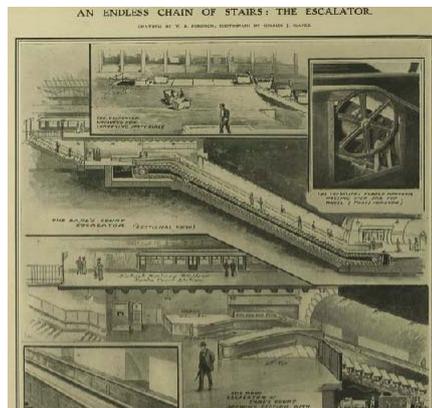


ソルトヒル殺人事件—スロー駅の電信 (The Murder at Salt-Hill—
The Electro-Magnetic Telegraph, at Slough) (January 11, 1845)

—殺人事件の犯人逮捕に電信が役立ち、
その効用を世に知らしめるのに大いに貢献した



万博会場での ILN の印刷実演 (Applegath's
Vertical Printing Machine, Exhibited by
the Proprietors of the "Illustrated London
News") (May 31, 1851)



無限の階段：エスカレーター
(An Endless Chain of Stairs: The Escalator) (October 14, 1911)

—ロンドンで最初にエスカレーターが設置された地下鉄の駅、
アールズ・コート駅

次回は KINOLINE 5月号に掲載いたします。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 電子商品営業部
(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。